

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社セレス 上場取引所 東
コード番号 3696 URL https://ceres-inc.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 都木 聡
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 管理本部長 (氏名) 小林 保裕 (TEL) 03-6455-3756
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	20,218	16.9	1,831	60.4	1,429	94.2	1,524	107.5	845	660.4
2023年12月期第3四半期	17,293	15.2	1,141	24.9	736	△23.9	734	26.6	111	495.3

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 681百万円 (306.8%) 2023年12月期第3四半期 167百万円 (160.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	73.71	-
2023年12月期第3四半期	9.76	-

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. EBITDA=税金等調整前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算)+減損損失

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	29,925	11,163	32.7
2023年12月期	25,915	10,045	35.4

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 9,775百万円 2023年12月期 9,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期(予想)	-	-	-	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2024年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 20円00銭

詳細については、2024年10月25日に公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	27,000	12.2	2,500	46.4	1,600	43.1	2,000	64.2	1,200	166.0	104.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) Apollo Capital 1号投資事業有限責任組合、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	12,084,600株	2023年12月期	11,984,500株
2024年12月期3Q	574,181株	2023年12月期	571,232株
2024年12月期3Q	11,474,296株	2023年12月期3Q	11,399,128株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年1月1日～2024年9月30日)におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化、資源価格の高騰、円安による物価の上昇等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間においては、売上面ではモバイルサービス事業において、当社グループが運営するポイントサイトであるモッピーが会員数の増加等により引き続き好調に推移いたしました。また、化粧品・ヘルスケア商品等を取り扱っているD2Cは前期からのヒット商品の牽引により大幅増収となりました。取引先企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)支援を行う連結子会社ゆめみは大口案件の端境期に入っている影響等により、減収となりました。また、フィナンシャルサービス事業においては、ブロックチェーン関連事業を行う連結子会社マーキュリーやオンラインファクタリングサービスを提供している連結子会社ラボルの順調な成長に加えて、投資育成事業において営業投資有価証券の売却を行ったことにより大幅増収となりました。

利益面では、モッピーにおける粗利率改善やD2Cでの販売好調により、モバイルサービス事業において大幅増益となりました。また、フィナンシャルサービス事業においては、各事業が好調に推移したことによる増収となった一方、投資育成事業での営業投資有価証券の減損処理により減益となりました。また、持分法適用関連会社であるビットバンクは、第2四半期連結会計期間以降の軟調な暗号資産市況による影響を受けているものの、第1四半期連結会計期間に暗号資産価格の上昇があったことにより、引き続き持分法による投資利益を計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は20,218百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益は1,429百万円(同94.2%増)、経常利益は1,524百万円(同107.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は845百万円(同660.4%増)となりました。

また、当社グループの経営指標として重視しているEBITDAは1,831百万円(前年同期比60.4%増)となりました。なお、当社グループのEBITDAは税金等調整前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算)+減損損失で算出しております。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

モバイルサービス事業

モバイルサービス事業は、日本最大級のポイントサイトであるモッピーや自社アフィリエイトプログラムAD.TRACK等から構成される「ポイント」、化粧品・健康食品等の企画・製造・販売を行う「D2C」、及び連結子会社ゆめみが手掛ける企業のDX化支援サービス「DX」で構成されております。

「ポイント」においては、引き続きサイトやアプリの継続的な改良等を行うとともに、各種キャンペーン等の施策を実施してまいりました。また、AD.TRACKとの連携を進めたことにより利益率も改善しており、増収増益となりました。なお、モッピーの会員数は堅調に推移し、当第3四半期連結会計期間末の会員数は556万人(前年同期比11.3%増)となり、アプリの累計ダウンロード数も530万件(同33.3%増)に達しております。

「D2C」においては、機能性インソール「Pitsole(ピットソール)」や機能性表示食品「Oigurt(オイグルト)」の販売好調に加えて、広告投資のコントロールを徹底した結果、増収増益となりました。

「DX」においては、大口案件の端境期による稼働率の低下があった一方、採用ブランディング強化による採用研修費の低減など各種コストの最適化に努めた結果、減収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるモバイルサービス事業の売上高は19,162百万円(前年同期比13.4%増)、セグメント利益は3,052百万円(同35.0%増)となりました。

フィナンシャルサービス事業

フィナンシャルサービス事業は、ブロックチェーン関連、オンラインファクタリングサービス、投資リターンを得ることを目的とした投資育成事業を行っております。

ブロックチェーン関連事業においては、マーキュリーが運営するステーキングサービス「CoinTradeStake (コイントレードステーク)」が順調に推移し、暗号資産価格の上昇の影響もあり、損失幅が縮小いたしました。また、オンラインファクタリングサービスにおいては、フリーランス向けAIファクタリングサービス「labol (ラボル)」やカード決済サービス「labol (ラボル) カード払い」が好調に推移いたしました。さらに投資育成事業では、Apollo Capital 1号投資事業有限責任組合を新たに設立し、営業投資有価証券の売却を実施した一方、保有する営業投資有価証券の実質価額を精査し、一部銘柄について減損処理を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるフィナンシャルサービス事業の売上高は1,065百万円（前年同期比162.0%増）、セグメント損失は735百万円（前年同期は657百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の額は、前連結会計年度末に比べ4,010百万円増加し、29,925百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,656百万円増加したこと、商品及び製品が968百万円増加したこと、有形固定資産が443百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における総負債の額は、前連結会計年度末に比べ2,892百万円増加し、18,762百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したこと、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が増加したこと、ポイント引当金が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,117百万円増加し、11,163百万円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い845百万円増加したことと、配当金の支払いにより228百万円減少したこと、非支配株主持分が527百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期通期の連結業績予想につきましては、「営業外収益の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」（2024年5月2日公表）で発表いたしました内容から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,112,206	10,768,540
受取手形、売掛金及び契約資産	3,643,349	3,397,471
営業投資有価証券	2,976,200	2,606,686
商品及び製品	384,326	1,353,163
仕掛品	76,619	151,211
原材料及び貯蔵品	93,741	50,543
その他	2,339,178	2,816,869
貸倒引当金	△38,658	△113,178
流動資産合計	17,586,962	21,031,308
固定資産		
有形固定資産	361,668	805,281
無形固定資産		
のれん	1,537,615	1,383,397
その他	192,068	331,220
無形固定資産合計	1,729,683	1,714,618
投資その他の資産		
関係会社株式	3,194,221	3,216,884
その他	3,046,278	3,193,337
貸倒引当金	△3,728	△35,965
投資その他の資産合計	6,236,771	6,374,256
固定資産合計	8,328,123	8,894,156
資産合計	25,915,085	29,925,465
負債の部		
流動負債		
買掛金	783,868	955,512
短期借入金	3,413,000	4,329,000
1年内返済予定の長期借入金	1,635,478	2,073,867
未払法人税等	246,857	330,416
ポイント引当金	3,921,484	4,125,232
賞与引当金	-	44,998
役員賞与引当金	30,000	-
本社移転費用引当金	40,781	-
資産除去債務	88,100	-
その他	3,291,877	3,309,350
流動負債合計	13,451,447	15,168,376
固定負債		
長期借入金	2,314,085	3,279,715
資産除去債務	-	278,393
その他	103,724	35,724
固定負債合計	2,417,809	3,593,833
負債合計	15,869,257	18,762,210

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,046,390	2,125,062
資本剰余金	2,567,845	2,646,517
利益剰余金	4,719,572	5,337,066
自己株式	△307,818	△307,896
株主資本合計	9,025,991	9,800,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158,312	△24,983
その他の包括利益累計額合計	158,312	△24,983
新株予約権	1,266	-
非支配株主持分	860,258	1,387,486
純資産合計	10,045,828	11,163,254
負債純資産合計	25,915,085	29,925,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	17,293,600	20,218,266
売上原価	9,873,778	10,491,686
売上総利益	7,419,822	9,726,579
販売費及び一般管理費	6,683,592	8,296,586
営業利益	736,230	1,429,993
営業外収益		
受取利息	524	1,078
持分法による投資利益	—	95,409
投資事業組合運用益	—	34,688
還付消費税等	53,147	—
その他	9,884	12,272
営業外収益合計	63,556	143,450
営業外費用		
支払利息	17,582	33,123
持分法による投資損失	26,124	—
投資事業組合運用損	10,024	—
その他	11,457	16,304
営業外費用合計	65,189	49,428
経常利益	734,597	1,524,015
特別利益		
新株予約権戻入益	—	755
特別利益合計	—	755
特別損失		
減損損失	368,502	—
持分変動損失	—	72,248
本社移転費用	—	14,221
その他	3,558	—
特別損失合計	372,060	86,469
税金等調整前四半期純利益	362,536	1,438,300
法人税、住民税及び事業税	450,783	637,809
法人税等調整額	△220,147	△63,865
法人税等合計	230,636	573,943
四半期純利益	131,899	864,357
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,680	18,597
親会社株主に帰属する四半期純利益	111,219	845,759

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	131,899	864,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,617	△182,798
持分法適用会社に対する持分相当額	2,885	△498
その他の包括利益合計	35,502	△183,296
四半期包括利益	167,402	681,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,722	662,463
非支配株主に係る四半期包括利益	20,680	18,597

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、Apollo Capital 1号投資事業有限責任組合を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、Apollo Capital 1号投資事業有限責任組合は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,886,935	406,664	17,293,600	—	17,293,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,907	—	15,907	△15,907	—
計	16,902,843	406,664	17,309,508	△15,907	17,293,600
セグメント利益又は損失 (△)	2,261,163	△657,662	1,603,501	△867,271	736,230

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△867,271千円は、セグメント間取引消去5,034千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△872,305千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フィナンシャルサービス事業」において、当社の子会社である株式会社マーキュリーのブロックチェーン関連事業のソフトウェアについて368,502千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,152,837	1,065,428	20,218,266	—	20,218,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,811	—	9,811	△9,811	—
計	19,162,648	1,065,428	20,228,077	△9,811	20,218,266
セグメント利益又は損失 (△)	3,052,364	△735,025	2,317,339	△887,345	1,429,993

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△887,345千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	214,935千円	182,252千円
のれんの償却額	154,218千円	154,218千円